

JIS T8115:2015 クラス5, 6適合化学防護服
スプリトップ® カバーオール

SPLITOP COVERALL



Designed by WORLD GROUP
Produced by MAEDAKOSEN

前田工織株式会社

スプリトップ® カバーオール SPLITOP COVERALL

JIS T 8115:2015 化学防護服
タイプ5 (浮遊固体粉じん防護用密閉服) 適合
タイプ6 (ミスト防護用密閉服) 適合

安全性、通気性、動きやすさを兼ね備えた新しい防護服です。



バリア性と通気性を併せ持つ素材を使用し、快適で安全に作業が行えます。
日本人の体形や骨格に基づいたパターン設計を行い、体にフィットする防護服です。

当社国内工場では生地を生産を行い、安定した品質管理を行っております

用途

- 汚れ作業
- アスベスト除去
- ウレタン吹付
- メンテナンス
- 粉じん作業
- 畜産農場作業 など

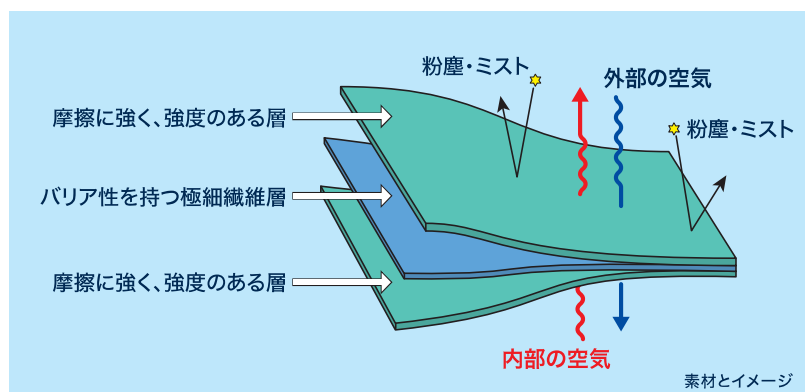
通気性に優れるため、幅広い作業環境でご使用いただけます。

〈仕様〉

- つなぎ服
- ファスナーカバー付
- 袖口、足首、フードゴム入
- 指ループゴム付

通気性

生地は3層構造になっております。
粉塵に対して高いバリア性と、通気性を併せ持ち、様々な環境での作業に適しています。



安全性(バリア性)

JIS T 8115:2015 化学防護服タイプ5生地試験適合

試験項目	規格	試験結果
引裂強さ	クラス1以上	適合
突刺強さ	クラス1以上	適合
摩耗強さ	クラス1以上	適合
屈曲強さ	クラス1以上	適合
縫合部強さ	クラス1以上	適合

JIS T 8115:2015 化学防護服タイプ5製品試験適合

試験項目	規格	試験結果
微粒子エアロゾル漏れ率	クラス1以上	適合

必要に応じて適切な性能の個人用保護具
(手袋、長靴、シューズカバー、呼吸用保護具、ゴーグル、眼鏡等)を併用してください。
着用の際、袖口、裾、首回りなどに隙間ができないように注意してください。

JIS T 8115:2015 化学防護服タイプ6生地試験適合

試験項目	規格	試験結果
耐液体浸透性	クラス3以上	適合
液体反発性	クラス3以上	適合
引張強さ	クラス1以上	適合
引裂強さ	クラス1以上	適合
突刺強さ	クラス1以上	適合
破裂強さ	クラス1以上	適合
摩耗強さ	クラス1以上	適合
屈曲強さ	クラス1以上	適合

※外部試験機関にて試験を実施し、適合していることを確認しています。

試験項目	規格	試験結果
耐水度	—	600mm
通気度	—	20cc

※試験結果であり性能を保証するものではありません。

動きやすさ

日本人の体形や骨格に基づいた製品を作るため、
アパレルメーカーのワールドグループでパターン設計を行いました。
適性なサイズを着用することで生地がダブつかず、安全に作業が行えます。
また屈伸や挙手、前屈の際にも生地が突っ張らず快適にご着用いただけます。



両腕を上げる



かがむ



ひねり



膝立ち



落下物を拾う



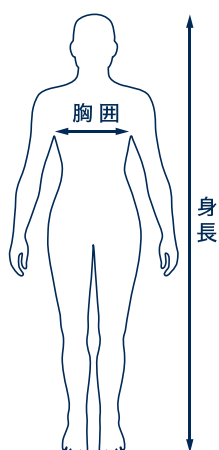
抱え込む



足元も生地が余らず安全



適応サイズ



サイズ	身長(cm)		胸囲(cm)	
	S	150～165	70～95	
	M	160～175	80～105	
	L	165～180	90～115	
	LL	175～190	100～125	

適正なサイズの防護服を着用することにより、
密閉度が高まり、より安全に作業を行うことができます。



160cm Sサイズ



180cm LLサイズ

商品特長



ファスナーカバー、
前立てには両面テープ付き
口元までしっかりカバーします。



フードゴムにより
ゴーグル着用時にも
フィットします。



接着しやすい両面テープを
使用し、ファスナー部分を
保護します。



背中にタックを入れ
突っ張りにくく
動きやすい仕様です。
※特許出願中



袖がずり上がらないよう、
袖口にループゴムを
取り付けています。

防護服の選び方

【化学防護服】

化学防護服は、JIS T 8115:2015において、酸、アルカリ、有機薬品、その他の気体及び液体並びに粒子状の化学物質を取り扱う作業に従事するときに着用し、化学物質の透過/又は浸透の防止を目的として使用する防護服」と定義されています。

規格では、全身カプセル型防護服、液体またはスプレー防護用密閉服、続服、ジャケット、ズボン、エプロン、スモック、フード、スリーブ、フットウェアカバーが対象とされています。

化学防護服の種類(タイプ)は下表のように分類されています。

タイプ1	気密服	自給式呼吸器を服内または服外に装着した気密服
タイプ2	陽圧服	外部から服内部を陽圧に保つ呼吸用空気を取り入れる構造の非気密形全身化学防護服
タイプ3	液体防護用密閉服	液体化学物質から着用者を防護するため、服の異なる部分間、服と手袋及び服とフットウェア間が対液体密閉接合した構造の全身化学防護服
タイプ4	スプレー防護用気密服	液体化学物質から着用者を防護するため、服の異なる部分間、服と手袋及び服とフットウェア間が対スプレー密閉接合した構造の全身化学防護服
タイプ5	浮遊固体粉塵防護用密閉服	浮遊固体粉じんから着用者を防護するため、服の異なる部分間、服と手袋及び服とフットウェア間が対浮遊固体粉じん密閉接合した構造の全身化学防護服
タイプ6	ミスト防護用密閉服	ミスト状液体化学物質から着用者を防護するため、服の異なる部分間、服と手袋及び服とフットウェア間が対ミスト密閉接合した構造の全身化学防護服

【ハザードと防護服】

JIS規格T8005:2023では、防護服(protective clothing)を「身体を一つ以上のハザードから防護するためにデザインされた服」と規定しており、様々なハザードに対する防護服について規格が制定されています。

- 例)
- JIS T 8005:2023

防護服の一般要求事項
- JIS T 8115:2015

化学防護服
- JIS T 8120:2006

防護服・ハンドナイフにより切りきず及び
刺しきずを防護するためのエプロン、ズボン及びベスト
- JIS T 8122:2015

生物学的危険物質に対する防護服
- JIS T 8128:2018

溶接及び関連作業用防護服
- JIS T 8130:2018

防護服・火災に対する防護服
- JIS Z 4809:2012

放射性物質による汚染に対する防護服

事業者は労働安全衛生に係る法令、指針に従い、リスクマネジメント、リスクアセスメントを取り入れて労働災害の防止、安全衛生の向上を図らなければなりません。

このため、各ハザードに対する適正な防護服の着用が重要です。

使用上の注意

- ご使用前に取扱説明書をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本品と合わせてご使用になる他の保護具についてもそれぞれ取扱説明書をお読みください。
- 可燃性ですので、火気及び高熱のある場所では使用しないでください。
- 熱ストレス緩和のため、本品の内部には吸水性のある下着等、適切な衣類を着用して下さい。
また、着用前に水分補給し、長時間の作業では適度な休憩をとってください。
- 本品は着用者を浮遊固体粉じんや限定されたミストから保護する場合に使用するシングルユース（使い切り）品です。
作業環境に応じて選択使用し、再使用しないでください。
液体または 粉じんの種類、濃度によって適用できない場合があります。
- ご使用の際の環境、状況に応じて適切な呼吸用保護具（自給式呼吸器など）を使用してください。
- 必要に応じて適切な性能の個人用保護具（手袋、長靴、シューズカバー、呼吸用保護具、ゴーグル、眼鏡、エプロン等）を併用してください。
着用の際、袖口、裾、首回りなどに隙間ができないように注意してください。
- ご使用前に本品に損傷がないかを確認ください。
縫製不良やファスナーの不具合等、機能的な不具合がある場合は使用しないでください。
- 本品のサイズ適用目安は本カタログ内に示していますが、個人差があるため、実際に試着して動きやすいサイズを選択してください。
- ご使用中に本品に損傷を受けた場合は、使用を中止し、廃棄してください。
- 製品の仕様やデザインは予告なく変更することがございます。
- 汚染された防護服は国および各自治体の規則に則って処理してください。
- このカタログに記載の内容は2024年10月現在のものです。
法令、規制等は最新の情報をご確認ください。

前田工織株式会社

不織布事業部 <https://www.maedakosen.jp/use/nonwoven/>

東京グループ 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F TEL:03-6402-3941

能登川グループ 〒529-1411 滋賀県東近江市五箇荘河曲町70 TEL:0748-48-2541

